

神戸市会が 辺野古意見書を 採択するまで

西 信夫 (市民デモ HYOGO)

2019年2月、沖縄県の「辺野古米軍基地建設のための埋立の賛否を問う県民投票」に呼応して兵庫県で行われた市民投票が成功しました。県下45団体が参加する「市民デモ HYOGO」は、「辺野古埋立工事をいったん中止し、政府が沖縄県と誠実に話し合うよう求める」意見書を採択する運動に取り組むことになりました。10月には神戸YWCAを含む市内20団体で「神戸市への辺野古請願署名実行委員会」を立ち上げ、署名活動を本格化しました。しかし、2020年2月頃からの新型コロナ感染拡大で6月議会への請願は断念、感染がやや沈静化した9月後半から署名活動に拍車がかかり、YWCAさんにも沢山集めていただきました。

日頃から親しい会派「つなぐ」のA議員から、公明党会派のB議員をご紹介いただき、「『請願』でなく『陳情』で、また、『工事をいったん中止』は削除」なら、何とか各会派を説得できるというお話をいただき、目標を意見書採択に絞って11月20日に陳情書を提出しました。しかしその

直後、B議員のご事情により各会派との調整ができていない中で12月1日の常任委員会を迎えました。出席した6会派のうち、自民、公明、維新、立憲の4会派が反対、共産、つなぐの2会派が賛成で、「採決せず審査打ち切り」となりました。理由は、辺野古の問題は政府と沖縄県の間の問題であるから両方で解決すべきであり、神戸市が口



「辺野古署名実行委員会メンバー」による街頭活動

市民デモ HYOGO フェイスブックページ
<https://www.facebook.com/市民デモhyogo-151588621952628/>

を出すべきではないというものでした。

年が明け、2021年2月議会に再陳情することになりました。まず、B議員から「(自民会派にも受け入れられる内容で)米軍が日本の安全保障上重要な役割を担っている、政府は米軍基地の縮減について努力してきた」とし、「国に対し沖縄県と対話を深める努力を求める」陳情案を示されました。この案を実行委員会で検討し、米軍基地の役割を評価し、政府の姿勢を肯定する文面を削除するよう求め、了承を得ました。その結果、3月22日の常任委員会では、出席6会派のうち、自民、公明、立憲、共産、つなぐの5会派が陳情に賛成し、維新1会派が反対しました。維新の反対理由は、「国防は政府の専権事項であるから地方議会が口出しすべきではない」という趣旨でした。続いて3月26日の本会議では、陳情に賛成した会派間で検討された意見書が、自民、公明、共産、立憲、つなぐ等の各会派と無所属の計56名の連名で議員提案され、採択されました。維新と無所属の計12名は反対しました。

意見書の文面については、「陳情書に無い文言を入れた意見書はダメだ。陳情を取り下げよう」という声もありました。しかし、意見書の最後の文章「よって、政府においては、地方自治の本旨にのっとり、沖縄県民の思いに寄り添って、辺野古基地を始め沖縄の諸問題解決のために沖縄県とさらに粘り強く対話を深める努力をなされるよう要望します」は、政権与党会派である自民・公明として出せるギリギリの線と理解し、150万政令指定都市である神戸市の議会から、ほぼ全会一致で、政府に話し合いを促す意見書の提出は大きな意義があると判断しました。現在まで意見書を採択した自治体の中で、自民会派が賛成した例はないと聞いています。この結果は、神戸新聞、沖縄タイムス、琉球新報等に掲載されました。

「子ども日本語トータルサポートプログラム」をご支援ください！



Zoomの画面共有を使ったオンライン授業の様子

「子ども日本語トータルサポートプログラム」では、外国にルーツを持つ子どもに、日本語・教科学習の支援として、夏に「勉強に役立つ日本語クラス」を行っています。コロナ禍で2020年度は、オンライン開講となりました。神戸YWCA学院日本語コース主任講師福井武司講師に聞きました。

Q オンライン開講となったことでなにが変更はありましたか。

A はい。従来の紙媒体のテキストではなく、パワーポイントなどを使用したオンライン対応の教材の作成が必要になりました。

Q 教材作成の具体的な進め方と、完成した教材について教えてください。

A どのようにすれば子どもたちにとって効果的な教材になるのか、日本語講師で何度もミーティングを持ち、協力して作業を進めました。6

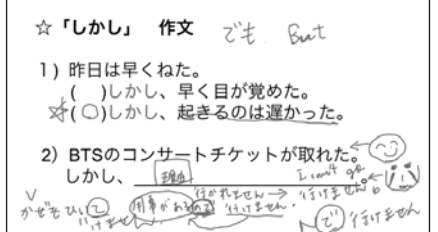
人の日本語講師が参加し、作業には延べ200時間余りかかりました。それでも時間が足りず、当初計画していたもの全てを完成することはできませんでした。これからも作業が必要です。

Q オンライン教材の種類と、作成にあたり重視した点・工夫した点は？

A 教材の種類はネットリテラシー、基礎的な日本語と語彙、漢字学習、作文学習、ゲームやクイズです。作成にあたり重視したのは、見やすさとイラストを用いて楽しい教材にするという点です。

Q オンラインクラスはどうでしたか。

A 一対一の授業なので講師の人数確保は大変でした。一方で、指導はこれまで以上に細やかなものになり、参加した中学、高校3年生の子どもたちは皆、希望する学校に進



やりとりをしながら書き込めるオンライン教材

むことができました。夏のプログラムがその一助になったのでは、と思うと嬉しい気持ちになります。

Q 今後の教材づくりについても教えてください。

A 教材の質、量ともに満足のものにするため、さらなる実践というプロセスが待っていると思っています。また、教材は神戸YWCA学院の中だけでなく、他団体にも広め公共財化したいと考えています。

.....

* 2021年度「子ども日本語トータルサポート募金」は、「勉強に役立つ日本語クラス」、学校生活をサポートするためのプログラム実施、外国にルーツを持つ子どものためのオンライン教材作成に活用いたします。ぜひご寄付くださいますようお願い申し上げます。

ご寄付はこちらへ

子ども日本語トータルサポート募金

目標額：180万円
募集期間：2021年6月1日～
2022年9月30日

郵便振替 01100-0-10298
公益財団法人神戸YWCA

*振替用紙の通信欄に「子ども日本語」とご明記ください。

神戸YWCAへのご寄付は税額控除の対象になります。詳しくは事務局へお問い合わせください。

まごの手ヘルパー徒然記



こんにちは。神戸YWCAまごの手でホームヘルパー（訪問介護員）をしている、藤井です。現在、新型コロナウイルスの感染拡大が続いていますが、私たちは「エッセンシャル・ワーカー」として、休みなく働き続けています。

訪問活動をする中で、利用者から学ぶことは限りなく多いです。十人十色ですが、どの方も、老いや死と向き合い、困難や哀しみを抱えながら、その人らしい工夫も重ねながら、自宅で生活しています。

介護の担い手は、残念ながら不足しています。中でも、ホームヘ

ルパーの現状は深刻です。施設職員の有効求人倍率が約4倍に対して、ホームヘルパーのそれは約15倍といわれています。しかも、ホームヘルパー全従業員の約4割が60代以上という統計もあります。

あと数年で、団塊の世代がすべて後期高齢者になる、超高齢化社会が訪れます。一人ひとりのかけがえのない生を、その終わりまで大切にできる社会を維持していけるのか、待ったなしの現場に忙殺されながら、日々考えています。

(藤井 かえ子)

コロナ禍の「茶話会」は1回で休止に！

4月16日、「わいわい茶話会」を14人の参加で開きました。初参加の方が3人来られ、簡単な自己紹介でちょっと緊張をほぐして、プログラムがスタート。

「今どきの流行りもの」では、川辺比呂子さんがパソコンとプロジェクターを使って動画や写真でホットな話題を紹介。楽しく学んで、家人に誇らしげに話したり、スマホで見直せたりするので好評だ。

今回のテーマは「LGBT (=性的少数者)」、性的指向ってグラデーション。当事者たちが虹色の旗をかかげ、パレードも行うようになったと聞いて、「今どきはそうなのね」と参加者の理解が深まりました。

橋本静子さんのピアノ演奏を鑑賞



「今どきの流行りもの」でプライド・パレードの様子を見る参加者たち

し、コロナ変異ウイルス拡大中のため、用意したサンドイッチは持って帰っていただきました。

その後、三度目の緊急事態宣言発出で、茶話会は休止となっています。検査とワクチン接種が拡がり、安心して集まれる状況が早く来てほしいです。(井上 みち子)

平和活動グループ

平和活動部として長年活動してきたが、2021年度より平和活動グループとして再スタートを切った。平和活動部と同じく、平和、憲法、民主主義、非核などについて考え、活動していきたい。

最近の活動として他団体と共に、「神戸市への辺野古請願署名実行委員会」での署名活動に参加、意見書を神戸市が可決、政府へ提出することができた。恒例となっていた平和集会や憲法出前プログラムは、コロナ禍で当面見合わせる事となったが、他団体との活動協力、持ち寄り勉強会などは引き続き実施していく。

国内外の平和を取り巻く問題が増々多くなり、複雑・多様化している今、経済なども含め、多角的な勉強の必要性を感じている。皆さんも一緒に平和について学習し、考え、発信していきませんか？

(平和活動グループ)



4市YWCA協働～互いに学び合うつながり

4市YWCA(京都、大阪、名古屋、神戸)は、2017年から日本YWCA「地域YWCAを主体とした活動(LA=Local Action)」に取り組んできました。テーマは「運営委員のパワーアップ」。4市で知恵を出し合い協働することの楽しさ、また自分たちの成長を体感した4年間でした。

そして、2021年度以降も4市YWCAの協働は続きます。今後は4市YWCA各々が主催するプログラムに互いに相乗りしつつ、その経験や人脈、学びを共有していく計画です。

その第1回が4月17日、京都YWCA主催のオンライン「イースター&世界YWCA会員日集会」でした(参加者39人)。増田琴牧師(経堂緑岡教会)による、キリスト教基盤を理解するためのお話に加えて、各市YWCAから今年度の活動アピールを行いました。

今後は、「キリスト教基盤研修」「ユースのリーダーシップ研修」「グラフィックレコーディングの実践」など様々なテーマが登場します。神戸YWCAからは世界・社会委員会の

「韓国市民社会を知り、日本市民社会を考えるプロジェクト」を共有し、より多くの方々と学んでいけたらと願っています。(西本 玲子)

晩年、光子は「兄啄木の思い出」を著し、真の啄木像を世に示し、79年の生涯を神戸の地で終えました。その生き方に私は学びたいと思います。(三浦啓子)

牧師の三浦清一と結婚し、戦中は困難な時代を過ごしましたが、終戦前に賀川豊彦から神戸愛隣館の再建を依頼され、光子は大空襲のさなかの東京から、神戸に来たのです。夫妻は愛隣館で、恵まれない少女たちをキリスト教の愛の手で育て、社会福祉事業にも尽力しました。

小樽のメソジスト教会で受洗、その後聖使女学院で学び、婦人伝道師となりました。この頃「クリストを人なりといえば 妹の眼がかなしくも われをあわれむ」の一首で、人間本位論者の兄と妹との悲しい行き違いを啄木は詠んでいます。

盛岡市浜民の「石川啄木記念館」で、企画展が開催され、啄木から光子宛「ラストレター」などが公開されました。コロナ禍でも多くの来訪者があつたようです。

歌人・石川啄木には二歳年下の妹光子がいます。今春、



神戸YWCAへの おさそい

神戸YWCA分室:

神戸市中央区坂口通 5-2-16 tel. 078-221-5111

*新型コロナウイルスの影響により、予定が変更されることがあります。

●ピース・ブリッジ その他

第10回 学び語り合いつながる会
「ジェンダーの視点からみる学校教育の現状と課題」
6月12日(土) 14時~16時
場所 喫茶「エスポワール」(阪急六甲駅南側徒歩2分)
Tel. 078-882-0351
講師 近藤凜太郎さん
(大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程)
参加費 1,000円(資料、ワンドリンク含む)
*マスク着用をお願いします。体調のよくない方はご遠慮ください。
問い合わせ 寺沢 (forpeace24@hotmail.com)

●夜回り準備会 分室

「フードパントリー(無料食品配布)」
6月12日・26日(土) 16時~18時
お困りの方に食料品の無料配布を実施します。
米、乾麺類、カップ麺、レトルト食品、調味料、
麦茶パックなど配布予定。1家族1セット、アレルギー対応はしていません。
予約優先制、先着順。なくなり次第終了します。当日受取時は検温・マスクの着用・アルコール消毒にご協力ください。体調不良の方はご遠慮ください。車でのご来場はご遠慮



ださい。
詳しくは夜回り準備会のブログ (<https://yomawari.hatenadiary.org/>) をご覧ください。
「ボランティア募集」
毎月第2・4土曜日の18~21時頃
一緒に活動して下さるメンバーを募集中。
電話(078-221-5111)・メール(yomawari@kobe.ywca.or.jp)でお問い合わせください。

●カフェもぐもぐ 分室

若年性認知症の人と仲間たちのカフェ。
7月3日(土) 10時30分~13時
参加費 700円(おやつ付き)
要予約、詳細はお問い合わせください。

●韓国市民社会を知り日本市民社会を考える プロジェクト(世界・社会委員会) オンライン

オンラインカフェ第1回「みんなで語ろう!韓国映画『共犯者たち』・韓国社会」
7月24日(土) 15時~17時
*Zoomによるオンラインイベント
参加費 無料
*7月20日までにオンラインフォーム (<https://bit.ly/3viTIOy>)よりお申し込みください。



■運営委員会報告

(4月)

4月10日、第2回運営委員会開催、出席5人。運営委員研修について確認

【報告】●日本YWCA●LA●会員活動●理事会【議事】●中央委員会議案と提案●2020年度運営委員会事業報告の確認●各委員会の募集チラシ作成と今後の進め方●運営委員会の連絡方法とデータ共有●運営委員会司会当番

(5月)

5月10日、第3回運営委員会開催(Zoom)、出席8人。【報告】●日本YWCA●LA●各委員会メンバー●各委員会・各グループ活動●運営委員研修の内容と月別計画決定【議事】各委員会メンバー確認と今後について

(書記・岩切 幸子)

■賛助員

井上早苗 小川佐由理
加納花枝 平山嘉廣
三浦哲朗 (敬称略)

■編集後記

青葉しげる季節、遅々として進まなかったコロナワクチン接種がようやく加速してきた。少し安心な気持ちになる。それにしても毎日「いのち」が消えていく。(S・I)

■学院だより

コロナ禍が続く中、「日本語ボランティア養成講座(入門編)」が初めてオンラインでの開講となりました。受講生には関東の方もおられ、どこからでも受講できるオンラインレッスンのメリットと新たな出会いの可能性を実感しています。(学院長・西本 玲子)

■分室だより

夜回り準備会は、コロナ禍で困っている方々への支援として、コープこうべの協力により、6月にフードパントリーを行うことになりました。5月29日(土)には、「プレ開催」を実施しました。(塩見 洋子)

■まごの手だより

サービス提供責任者の川西正子が6月末で退職。訪問介護事業所では、高齢であっても障害があっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域づくりを目指し共に働く新しい仲間を求めている。(所長・寺内 真子)

■保育園だより

卒園した子どもたちが、公園に行く途中や今通っている園の帰りに顔を見せに寄ってくれます。ふとしたときに親子で思い出してもらえる存在になっていることがとても嬉しいです。「いつでも立ち寄れる」こんな繋がりがずっと続くことを願っています。(園長・梅川 玲子)

はちみつ・コーヒージェットセット

YWCA オリジナルチャリティードリップコーヒーと春井さんの天然はちみつがセットになったギフトボックスです。エキストラ珈琲さんのスタンダードブレンドは、大きめのカップでたっぷり飲むのにちょうどいい量。はちみつやミルクを入れてもおいしいですよ。季節に合わせたデザインでラッピングいたします。

ご注文・お問い合わせ:
ファンディング実行委員会(担当・秋月)

大セット:
ドリップコーヒー5袋
はちみつ・大(500g)
¥3,000



小セット:
ドリップコーヒー2袋
はちみつ・小(100g)
¥1,000

ホームヘルパー募集

誰もが地域の中で自分らしい暮らしをおくるために、担い手となって働きませんか。

◆ホームヘルパー

常勤 月給 198,100円~
パート 時給 1,100~1,200円
登録型 時給 1,000~1,400円

*担当・寺内までお問い合わせください。

◆生活支援訪問
サービス従業者 900円/回

神戸YWCA
まごの手

☎078-231-3156



シャマイム

担当者 佐野 睦 (日本基督教団 甲東教会会員)



0120-41-1059 (24時間受付)

宗教を問わずあらゆるお葬儀をプロデュースさせていただきます

西宮市段上町 2丁目 13-2

URL: <http://sanosousai.com>